



## 淀川砂防山腹工事

内務省大阪土木出張所

位置 滋賀縣甲賀郡雲井村大字黄瀬字角  
(水口町西方約3里)

流域 淀川上流瀬田川支大戸川小支坂戸  
川流域水源

地質は花崗岩質砂土にして山腹は小溪状をなせる凸凹の皺曲多く、土塊恰も塔状の如く峙立し斷崖絶壁にして傾斜急なる爲降雨毎に土砂の流出甚しかつた。

砂防工事は傾斜の急なる斷崖絶壁の個所は崖法切をなし、谷筋及山脚等の集水個所には

山腹石積工を施して基礎を固め、漸次積苗工及筋工を施行し、各工種の天端には黒松、山楡(一名はげしぼり)アカシヤ等の苗木を植栽したものである。

工事は昭和三年四月一日着手昭和四年三月三十一日竣功した。寫眞は上が施工前の狀況、右上が竣工直後の狀況で、右下は竣工後五個年を経過し面目一新せる狀況である。最もよく繁茂したのは山楡であつた。

